

## 特別養護老人ホーム 皆生みどり苑

### 1 基本方針

「尊厳の保持」と「自立支援」をケアの基本とし、利用者が健康で安らぎのある主体的生活が送れるよう支援を行うとともに、地域住民との連携強化や情報公開等による透明性の確保に努め、地域に信頼される施設を目指す。

### 2 利用者の状況（平成29年3月31日現在）

#### （1）入退所の状況

定員	前年度末 利用者数	平成28年度中の入退所状況						利用 延人員	年間平均稼働率	年度末 利用者数
		入所	退所	退所理由別						
				施設移管	契約解除 (入院等)	死亡	計			
100人	99人	22人	24人	1人	0人	23人	24人	35,974人	98.56%	97人
27年度   100人	100人	25人	26人	0人	1人	25人	26人	36,028人	98.44%	99人

#### （2）利用者の介護度別人員

性別	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男性	0人	2人	5人	4人	4人	15人
女性	1人	2人	11人	25人	43人	82人
計	1人	4人	16人	29人	47人	98人

（平均介護度4.21）

### 3 事業の実施状況

#### （1）地域密着型サービスの展開準備

- ア 地域密着型特別養護老人ホームの指定申請を実施するにあたり、米子市と協議しながら円滑に手続きを行った。
- イ 利用者への地域密着型施設の説明は新規契約時に行うこととした。
- ウ 運営推進会議の委員就任については、予定者全員から承諾を得た。

#### （2）地域貢献の推進

- ア 地域住民向けに公開講座を実施した。今後も専門性を活かして継続開催する。
- イ 西部やまと園と連携して作品展を開催するとともに、地域のいきいきサロンの場としても地域交流ホールを開放して集いの場として提供した。
- ウ 地域住民を対象とした福祉相談日を設けていることを機関紙で公表し、専門性のある相談員が対応して地域貢献を図った。

#### （3）経営改善・基盤の確立

- ア 事前面接による欠員の迅速な補充及び看護・介護体制の充実による入院日数の減少により高稼働率98.5%を維持した。（目標稼働率98%）  
短期入所稼働率については、他の有料老人ホームや小規模多機能居宅介護等の増加により新規利用者の獲得が難しく、42.7%となり目標（65%）の達成には至らなかった。

#### 4 実習、ボランティアの受入状況

##### (1) 実習の受入実績

実習受入先	受入期間	実人員	延人員
Y M C A 米子医療福祉専門学校	8、11、12月	3人	19人
米子松陰高等学校	6月	1人	3人
米子北高等学校看護科	9月	4人	20人
米子医療センター附属看護学校	10月	8人	48人
米子南高等学校	6、7月	2人	5人
境港総合技術高等学校	10、11月	1人	17人
琴の浦特別支援学校	2月	1人	10人
県新規採用職員体験研修	11月	2人	6人
計		22人	128人

##### (2) ボランティアの受入実績

福生東公民館、永江地区在宅福祉員、ポプラの会、福生東小学校、さくら会、鬼面太鼓振興会、郷土の歴史を知る会、米子マジック同好会、溝口傘踊り同好会、和楽衣箱、長谷川芸能社、書道教室（個人）等 （延べ156人）

#### 5 付帯事業

短期入所事業 定員 併設6名及び空床型

年度	実人員	延人員
28年度	42人	935人
27年度	35人	1,174人